



たぎいふ

議会だより

平成31年

2/1

第158号



観世音寺講堂

議会を傍聴してみませんか!!

3月定例議会の日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/17	18	19	20	21	22	23
				本会議 提案理由説明 予算特別委員会		
24	25	26	27	28	3/1	2
	本会議 質疑・委員会付託		総務文教 常任委員会	環境厚生 常任委員会		
3	4	5	6	7	8	9
	建設経済 常任委員会		本会議 一般質問	本会議 一般質問		
10	11	12	13	14	15	16
	本会議 一般質問 (予備日)		予算特別委員会	予算特別委員会	予算特別委員会 (予備日)	
17	18	19	20	21	22	23
		本会議 報告・質疑 討論・採決				

1 2月定例議会レポート…………… 42P

一般質問(個人質問)…………… 44P

第5回意見交換会報告…………… 50P

行政視察報告…………… 52P

本会議は51名、委員会は12名まで傍聴できます。

予約の必要はありませんので、
どうぞお気軽にお越しください。

12月 定例議会レポート

◆大野城太宰府環境施設組合の共同処理する事務の変更及び大野城太宰府環境施設組合規約の一部変更に関する協議について **可決**
 大野城太宰府環境施設組合のごみ焼却処理施設の解体に伴い、事務と規約を変更する協議を関係市と行うものです。

予算

◆一般会計補正予算（第6号、第7号） **原案可決**
 二本の補正を合わせて、歳入歳出それぞれ9億2,010万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ259億6,694万8千円とするものです。
 歳入では、補正額の24%が国庫支出金、8%が県支出金となっています。基金からの繰り入れが61%です。災害復旧のための市債発行が6,700万円となっています。

費目	歳出増額補正の主なもの
民生費	障がい者自立支援給付事業費(7,304万8千円) 障がい者地域生活支援関係費(456万5千円) 障がい児通所支援給付関係費(1,342万6千円)
土木費	ブロック塀等撤去促進事業費(109万円)
教育費	小学校管理運営費(955万1千円) 中学校管理運営費(271万2千円) 机・いすなど消耗品の買い替えと、水城小学校、学業院中学校の学級増に備える費用等。
災害復旧費	災害復旧関係費 文化財施設 水城跡のり面の崩落復旧(1,140万1千円) 緑地等 大佐野緑地内(6,700万円) その他施設など(1億1,306万3千円)
公債費	公債償還元金(2億円)

◆太宰府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） **原案可決**
 柔整療養費啓発業務委託料の不足、国、県負担金の精算返還などにより、歳入歳出それぞれ7,247万5千円を追加し、予算の総額を73億3,551万3千円とするものです。

◆太宰府市水道事業会計補正予算（第2号） **原案可決**
 故障した大佐野浄水場の計器交換のため149万1千円の増額補正をおこなうものです。

◆太宰府市下水道事業会計補正予算（第1号） **原案可決**
 道路舗装に伴うマンホール蓋のかさ上げ等のため300万円の増額補正をおこなうものです。

全会一致で可決した議案(全29件)

議案番号	案件名	議決結果
議案第70号～第71号	太宰府市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
議案第72号～第85号	太宰府市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
議案第86号	下水道の排水協定の一部を改正する協定について	可決
議案第87号	財産の取得(太宰府市緑地保護地区内)について	可決
議案第88号	大野城太宰府環境施設組合の共同処理する事務の変更及び大野城太宰府環境施設組合規約の一部変更に関する協議について	可決
議案第89号	太宰府市立共同利用施設の指定管理者の指定について	可決
議案第90号	太宰府市指定地域密着型サービスの事業者の指定に関する基準及び事業の人員、設備及び運営の基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第91号	平成30年度太宰府市一般会計補正予算(第6号)について	原案可決
議案第92号	平成30年度太宰府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第93号	平成30年度太宰府市水道事業会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第94号	平成30年度太宰府市下水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第95号	太宰府市特別職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案第96号	平成30年度太宰府市一般会計補正予算(第7号)について	原案可決
議案第97号	平成30年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第98号	平成30年度太宰府市水道事業会計補正予算(第3号)について	原案可決

お詫びと訂正

ださいふ議会だより157号(11月1日)の46ページ平成30年度一般会計補正予算(第4号)の衛生費の内容につきまして、「連歌屋」の市有納骨堂ブロック塀補修と掲載していますが、正しくは「朱雀2丁目」の市有納骨堂のブロック塀補修でした。訂正のうえ、お詫びいたします。

平成30年第4回定例会を11月29日から12月17日まで19日間の会期で開催し、人事案件16件、財産の取得1件、指定管理者の指定1件、条例の一部改正2件、補正予算7件、筑紫野市との下水道排水協定の改正、および環境施設組合規約を一部変更する協議について審議を行いました。

人事

◆太宰府市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて **同意**
 教育委員 武藤 佳穂里 (任期 平成30年12月26日～平成34年12月25日)
 教育委員 野中 秀典 (任期 平成30年12月28日～平成34年12月27日)

◆太宰府市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて **同意**
 農業委員 齋藤 博実 (任期 平成31年4月9日～平成34年4月8日)
 農業委員 楠林 光子 (任期 平成31年4月9日～平成34年4月8日)
 農業委員 松尾 修 (任期 平成31年4月9日～平成34年4月8日)
 農業委員 宮崎 勝 (任期 平成31年4月9日～平成34年4月8日)
 農業委員 古賀 久延志 (任期 平成31年4月9日～平成34年4月8日)
 農業委員 花田 厚志 (任期 平成31年4月9日～平成34年4月8日)
 農業委員 松嶋 明広 (任期 平成31年4月9日～平成34年4月8日)
 農業委員 大田 治美 (任期 平成31年4月9日～平成34年4月8日)
 農業委員 佐田 浩 (任期 平成31年4月9日～平成34年4月8日)
 農業委員 四宮 利幸 (任期 平成31年4月9日～平成34年4月8日)
 農業委員 城戸 義房 (任期 平成31年4月9日～平成34年4月8日)
 農業委員 白石 純一 (任期 平成31年4月9日～平成34年4月8日)
 農業委員 児嶋 明子 (任期 平成31年4月9日～平成34年4月8日)
 農業委員 陶山 靖 (任期 平成31年4月9日～平成34年4月8日)

財産の取得

◆財産の取得（太宰府市緑地保護地区内）について **可決**
 大佐野地区緑地保護地区内の土地8筆2万6,303平方メートルを4,997万6千円で買収します。

指定管理者の指定

◆太宰府市立共同利用施設の指定管理者の指定について **可決**
 市内9カ所の共同利用施設の指定管理者として当該地区自治会を指定するものです。

条例

◆太宰府市指定地域密着型サービスの事業者の指定に関する基準及び事業の人員、設備及び運営の基準を定める条例の一部を改正する条例について **原案可決**
 事業者からの申請により、障がい者通所サービス事業所で介護サービスも利用できるようにするものです。

◆太宰府市特別職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例について **原案可決**
 平成30年8月10日の人事院勧告をうけ、平成30年4月1日から特別職、市議会議員、特定任期付職員および一般職の給与改定を行うものです。この改正に伴う補正予算も組まれています。

その他

◆下水道の排水協定の一部を改正する協定について **可決**
 市境では相互の排水管を利用しあう協定を筑紫野市と結んでいます。梅ヶ丘二丁目を協定に加える一部改正です。



問 国際交流振興基金の活用は
神武綾 議員

Q 国際交流振興基金は、平成29年度決算時、一億九千万円の積み立てがありま

A 部長 ①基金創設の経緯ですが、基金を創設しました

①基金一億九千万円の金額の根拠は、
②取り崩しの予定はないと説明されたが、取り崩さず活用する計画はあるのか伺う。



全質問項目
◇国際交流振興基金について
◇差別のない平等な施策の推進について
◇不用額について



問 水道管の耐震化に向けた今後の取組は
徳永洋介 議員

Q 水道施設は市民生活や社会経済に不可欠なライフラインであり地震等の自然災害、水質事故等の非常事態でも安全性と給水が確保される必要があります

A 部長 ①平成29年度末で管路の総延長は約334km、うち耐震管路は約32km

③今後の課題について

②水道管の耐用年数は地方公営企業法施行規則の中で40年と定められており、それを経過した管路の延長は29kmで8・7%とな



全質問項目
◇水道事業について
◇高齢者運転免許自主返納について
◇会計年度任用職員について



問 佐野東地区の区画整理事業に対する市長の認識は
村山弘行 議員

Q 佐野東地区の区画整理事業は市の方針であり第四次、第五次総合計画の中

A 市長 ①担当部長より随時説明を受けてきた状況であ

③今後の佐野東地区まちづくり事業の計画などあれば、明らかに示していただきたい。



全質問項目
◇佐野東地区「区画整理事業」の進捗状況について

平成10年に策定された太宰府市都市計画マスタープラン第1次計画によると、商業施設の弱体化や狭隘な道路網、建物の過密化等、多くの課題を抱えているとの記述があり、20年前から五条地区の衰退の兆しと危惧があったことが分かります。そこで、次の3点について伺う。

A 市長 ①買い物物サポーターカーマーズ・まほろば号の運行中止、災害時における物資の供給協力に係る協定の無効化、市とマミーズとの建物等賃貸契約に基づく来年5月以降の賃料収入の減など本市や地域への直接的影響も生じておられます。



全質問項目
◇マミーズ太宰府店の閉店を契機とする、これからの五条地区のまちづくりについて
◇優先順位の高い道路事業について



問 部活動の今後のあり方は
長谷川 公成 議員

Q 中学生の社会体育の充実について3点伺う。

①教育委員会は4中学校統一の部活動要綱を作成されたのか。
②本市体育施設を利用して活動を行っている中学生を主体とした社会教育団体数を把握しているのか。また施設利用料の措置を行っているのか。
③働き方改革の一環として、部活動に外部コーチの活用を進めていく考えはあるのか。その際に、一定の条件をつけるのか。

A 理事 ①部活動要綱については、部活動の目的や活動時間、約束手帳等が記載されている部活動の基本方針であり、教育委員会ではなく、各学校が作成しています。

②スポーツ課が把握している中学生の社会教育団体数は13です。使用料については、13全ての団体が、市内在住、子ども料金区分で取り扱いをしています。
③本市では、まずは各



全質問項目
◇中学生の社会体育の充実と置き勉について

中学校のニーズに応じて外部指導者を導入するよう計画しています。条件については、技術的な指導を行い、生徒の運動能力を高めるだけでなく、生徒同士や教員と生徒等との人間関係の構築を図る、生徒自身が自己肯定感を高めるといった部活動の教育的意義を踏まえた指導をしていただくというふうにご考えています。



問 市民の期待に応える改革を
藤井 雅之 議員

Q 市長の政治姿勢について3点伺う。

①新年度の予算編成方針について、住民の福祉の増進にどのように取り組んでいくのか。
②市長選挙公約の3つの工程と7つのプランの進捗状況と見える化の手段について。
③入札制度について3月定例会で市長は、現行制度の検証をしっかりと行っただうえで検討し、行政が責任を持って改善していくと回答されました。市長が現時点まで行なってきたこれまでの不断の検討状況は。

A 市長 ①本市の厳しい財政をま

ず立て直し、その大前提として市が抱える問題、課題を職員一同共有し、一丸となって事業に取り組みでいきます。
②7つのプランについては、内部で把握した進捗状況を見える化するため既に市長と語る会や広報だざいふ、ホームページ、SNS、各種寄稿などでも市民の皆様へ報告を行い、市議会ですうし



全質問項目
◇楠田市長の政治姿勢について

化と考えています。
③公共調達の手段として公正性、透明性、競争性及び適正な履行の確保を図り、現在は地場業者の受注にも配慮し指名業者の数を増やし競争性を高め、試行を重ね、どのような制度が望ましいか不



問 7月豪雨災害を検証し、
万全な災害対応を望む
原田 久美子 議員

Q 本市においては、平成30年7月豪雨で、土石流による建物全壊の被害が発生した。そこで、豪雨災害等に関する取組みについて、3点伺う。

①今回の豪雨災害において、市長はどのように対応されたのか。
②どのように土石流に対する減災対策が行われていたのか。
③地元自治会や関係機関との協力・連携体制について。



被災家屋

A 市長 ①私自身災害現場に赴き被災状況を確認し、被災地の復旧と被災者への迅速な対応を指示しました。まず道路の通行復旧と、二次被害を避けるための流木や土砂の撤去、水路の復旧を行いました。被災者からの要望に基づき、住居の確保と各支援制度の適用を行いました。

②全壊家屋の上流部に2基の治山ダムを設置していましたが、想定を超える大量の土砂と流木がダムを超えて家屋に流れこみました。今後の災害に備えて、新たに上流部に治山ダム2基の設置を福岡県へ要望しています。さらに市内各所にお

ける治山事業の推進を、継続して県へ要望してまいります。
③今後の災害に備えて、自衛隊の助言も受けながら、災害対応のシミュレーション作業を進めています。それにより導き出される災害対応を、自治会や関係機関と共有し、万全な災害対応に努めたいと考えています。

全質問項目
◇豪雨災害等に関する取り組みについて
◇太宰府市の後援等に関する規定について



問 歴史税は十分に理解されているか
入江 寿 議員

Q 歴史と文化の環境税（歴史税）について3点伺う。

①使途決定過程を市民参加の観点からどう評価するか。
②どのようにして納税者への対価はあるか。また徴収事業者もじまん認定事業をさらに発展させること。④定着した古都の光に十分なバックアップをすること。⑤交差点交通誘導警備事業について、評価が分かれている。地域住民への理解が必要と思われること。⑦⑧について見解を伺う。



全質問項目
◇歴史と文化の環境税について
◇水道管基幹管路の耐震化について

③⑦今は市内各学校が独自の取り組みを生み出すとして、段階的なで、それをしっかりと見守っていきます。
④さまざまな方策で継続のため支援していきいと考えています。
⑤多くの来訪者があるシーズンは、渋滞します。交差点内の歩行者の事故防止とスムーズな通行が目的です。



Q 本市は超高齢社会に突入し

ており、今後の死亡者人口も増加傾向になると予測される中、高齢者へ寄り添う行政サービスが求められる時代に入ったと認識する。そこで、葬儀後の受付窓口の一元化に取り組んでみてはどうか。市民利用の観点から2点伺う。

①死亡時の行政手続きについて、死亡者推移の観点から、窓口業務の現状と今後の課題について。

②一元化対応については、大きな経費をかけずに、自前での書式作成と関係部署の連携によって運用できないのかについて。

A 部長 ①死亡に伴う手続きは複数の部署にまたがり、作成すべき書類も多くなり

ます。まず市民課窓口個別の巡回用紙に沿って、順番に関係課をまわって頂いています。最後に市民課にその巡回用紙を返却して頂くことで、庁舎内での手続の漏れも防止を出来ています。

②の一元化対応では、大掛かりなシステム改修には経費が必要となるため、先進地である大分県別府市など情報収集を行っています。現在庁内システム上の共有フォルダ等を利用して対応出来ないか検討している状況です。

問 受付窓口の行政改革推進は
堺 剛 議員



他市のおくやみコーナー

全質問項目

- ◇受付窓口の行政改革推進について
- ◇本市の良好な公共交通環境の形成について
- ◇観光推進における本市の取り組みと現状について



Q 太宰府館は、地域活性化複合施設として、開館から14年を経過しようとして

いる。振り返った時に何も変わっていないのではな

いかと思うが、今後の施設役割の観点から2点伺

う。

①管理のあり方について。過去5年間の決算額推移を見ると、歳入

は、微増しているものの歳出が、それ以上に

増加していることから、歳出を減らすことも考えなければなら

問 太宰府館の管理・運営の見直しを
船越 隆之 議員

えているとの答弁であった。現状における今後の運営について市の見解を伺う。

A 市長 ①太宰府館の運営につき

ましては、今なおその多くが市民の皆様の税金で賄われているものでありますことから、今までも増収を図ることは当然であり、管理運営業務内容の見直しを含めて今後も努力して参ります。

②私としては、門前町を中心とした地域全体での魅力の向上が図れる活用をさらに検討していく必要があると考えています。今後も継続して検討してまいります。



太宰府館

全質問項目

- ◇太宰府館の管理・運営について

一般質問録画映像のご案内

掲載した一般質問の録画映像が視聴できます。下記のQRコードを読み取ると、スマートフォン用画面でご利用になれます。



●3日目(一般質問)の録画映像はこちらから →



一般質問議員名
神武 綾、村山 弘行、徳永 洋介、木村 彰人、長谷川 公成、藤井 雅之、原田 久美子

●4日目(一般質問)の録画映像はこちらから →



一般質問議員名
入江 寿、堺 剛、門田 直樹、船越 隆之

この録画映像の映像および音声は太宰府市議会の公式記録ではありません。本会議の公式な記録は、会議録をご覧ください。



Q 市が各種団

体に対して出している補助金について、基本的には採算の自立が求められるところであり、期限のない交付の継続には疑問がある。交付団体にもありますが、既得権として配慮するのでなく、事業提案制への移行が適切と考えるが市長の見解を伺う。

A 市長 補助金は

公益上補助の必要があるものに対して行政の目的達成のために交付するものであり、住民福祉の向上を図ることが基本です。その事業の目的や必要性を十分精査し、公正かつ効率的に支出する必要があります。市内団体への補助金については、事業計画書や事業報告書、決算書などの提出を求め担当課で精査を行い支出しているところですが、団体の育成に時間を要しているものもあり団体の自立や独立採算には至っていないなど課題もあります。

問 補助金の見直しを
門田 直樹 議員

全質問項目

- ◇市補助金について
- ◇ICTの推進について



どうなっとうと？一般質問／録画映像のご案内

どうなっとうと？一般質問

みなさんの声を活かします!

以下、ご意見の一部をご紹介します。



● 議会・議員について

- ・議会の在り方や議会改革など、議会のことをもっと議論してみてもいい。
- ・会議録の公開が遅いなど、議会改革の観点から情報公開が遅れているのでは。
- ・議会は行政のチェック機関であるが機能していないのではないか。
- ・市民の要望を市議会議員が検討し、議会に反映してくれるのか疑問である。
- ・中高生をまちづくりに参加させるための、中高生議会を開くべきです。
- ・「今何をどう変えねばならないのか」議会・議員に考えて欲しい。
- ・政務活動費が余っているが、議員は適切に活動しているのか。

● 意見交換会について

- ・太宰府市議会意見交換会なので、18名の全議員出席で行う方が良いと思う。
- ・常任委員会ごとのテーマで実施したのは良かった。3日間にわたり開催してほしい。
- ・部会方式でなく、議員全員で開催すると良いと思う。
- ・今回の方式では、全ての部会に参加すると6時間を要す。開催方法が間違っている。
- ・小さい「テーマ」に限定することなく、幅広い領域で意見交換すべき。
- ・他の市議会の意見交換会のやり方を参考にしてみたい。
- ・皆さんから出された意見の対応状況が分かると良いと思う。

● 平成29年度決算報告について

- ・各常任委員会において、それぞれの所管事業について審査すべきではないか。
- ・決算における経常収支比率が90%以上になっており、これを下げる具体的対策はあるのか。
- ・予算・決算について、もう少し具体的に説明してほしい。

● こどもと地域について

- ・子どもが大人になったら、太宰府に戻りたいと思えるような取り組みを行ってほしい。
- ・子育て支援センターを利用する方が多いと聞く。情報提供をもっと工夫し、回数も増やしてほしい。
- ・中学校完全給食をぜひ実現してほしい。

● 地域包括支援センターについて

- ・地域包括支援センターは、3～4箇所は必要ではないか。
- ・直営でやってみて、委託方式の他市と比べて評価してみたらどうだろうか。
- ・民間委託の方がスムーズにいくのではないか。

● 市内道路の安全対策について

- ・道路の補修や整備の計画はどうなっているのか。
- ・水城駅・口無線の工事完了はいつなのか。
- ・観光客が増えているが、道路整備が十分でなく戦略的な観光行政が求められている。

第5回意見交換会の詳しい内容や対応については、
太宰府市議会のホームページをご覧ください。

こちらから →



第3部（建設経済常任委員会）の様子

太宰府市議会 第5回意見交換会



平成30年11月18日に、第5回となる太宰府市議会意見交換会を開催しました。

今回の意見交換会は3つの常任委員会ごとの3部構成で実施しました。平成29年度決算報告とともに、各委員会のテーマについて意見交換を行い、延べ122名の方々にご参加をいただきました。

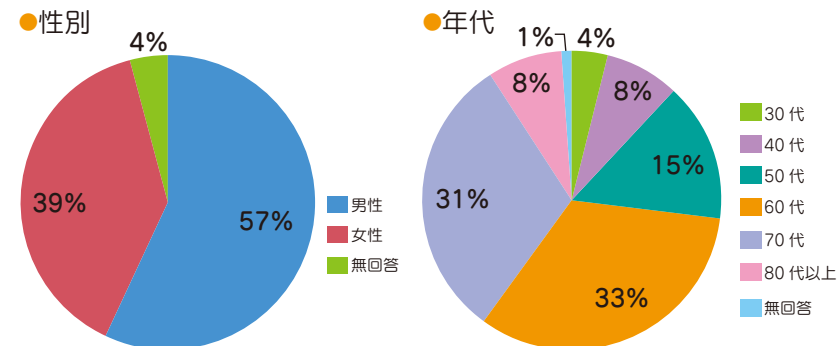
市議会一同、心より御礼申し上げますとともに、貴重なご意見を頂きました皆様に感謝申し上げます。

● 実施状況

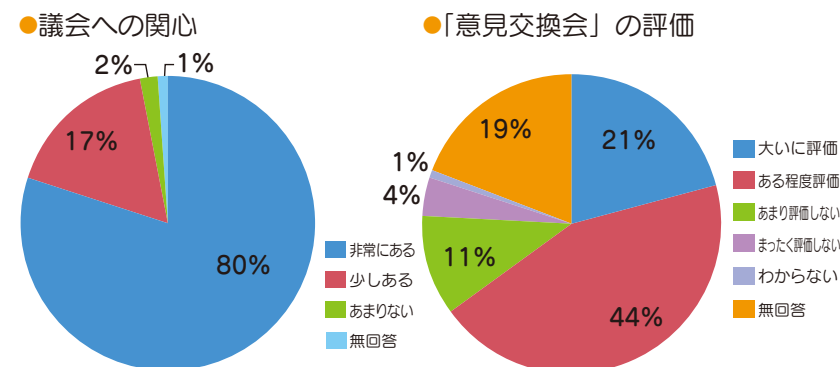
開催年月日	平成30年11月18日（日曜日）
会場	とびうめアリーナ（太宰府市総合体育館） 会議室・研修室
参加者	122名（延べ人数）

開催時間	担当常任委員会	テーマ	参加者
第1部（10時～12時）	総務文教常任委員会	こどもと地域について	35名
第2部（13時～15時）	環境厚生常任委員会	地域包括支援センターについて	41名
第3部（16時～18時）	建設経済常任委員会	市内道路の安全対策について	46名

● 意見交換会アンケート結果（抜粋）



参加者の内訳をみると、性別は、若干男性の方が多くいます。年代は、50歳代以上が87%を占めています。40代以下の年齢層への働きかけが、重要な課題であると考えます。



議会への関心は、97%のみなさんが「ある」と答えていますが、「意見交換会」を評価する割合は、65%にとどまります。皆様のご期待に応えられるよう、さらなる改善に取り組めます。

建設経済常任委員会

日程：平成30年10月31日(水)～11月2日(金)

●のりあい交通について 埼玉県白岡市

地域交通の一つとして広まっているデマンド型タクシーの運行事例の中でも制度設計に住民意見を反映させ利用満足度の高い成功事例を視察しました。

●観光振興計画について 埼玉県川越市

都心に近く古い街道の町並みを残す川越市には多くの観光客が訪れているが、観光消費の更なる喚起と地域の魅力アップのため策定した小江戸川越再発見プランについて視察をしました。

●立地適正化計画について 埼玉県志木市

人口減少等に伴う将来の社会変動を見据え、立地適正化計画の策定にあたり先駆的な取り組みを行っている志木市の事例について視察しました。



埼玉県志木市

議会運営委員会

日程：平成30年11月7日(水)～11月8日(木)

●議会運営について 京都府長岡京市議会

長岡京市議会では、議員全員で「政策研究会」を設置し、議員が主体的に調査研究を行い、政策提案につなげる活動を行っていました。また、災害時における「議会对応指針」をまとめた「災害対応ブック」を作成されており、本市議会でも策定に向けて早急な検討が必要だと考えます。

●議会運営について 京都府亀岡市議会

亀岡市議会では、開かれた議会を目指し、SNSを活用した情報発信や議会報告会以外でも自治会や各団体との意見交換会が活発に行われていました。通年議会の導入や子ども議会、高校生議会などにも積極的に取り組まれていました。



京都府長岡京市

◇編集後記◇

市民の皆様には本紙が届く時期を考えて、「時」をキーワードとして考察してみました。

季候は、立春とは言え寒さのピークを感じる季節、受験生にとっては重要な時期、春一番の梅の花が咲く頃、そして年間で最も早く駆け抜ける2月は、年度末を控えた社会経済動向の要な時期と言えます。

また2019年の今年は、太宰府市にとっても都市計画関連の重要計画が策定される年で、市政に於いてもある意味「勝負の年」であり、議会だよりの広報的役割が大きく求められる一年間であると思います。

今回の議会だよりは、今年初号であり、平成最後の議会だよりになりました。これからも、一人でも多くの市民の皆様に愛読される紙面づくりに努めて参ります。どうぞ、広報に関するご意見、ご要望等ございましたら、お聞かせ下さい。宜しくお願い申し上げます。

議会広報特別委員会

委員長 原田久美子
副委員長 木村彰人
委員 陶山良尚
委員 入江尚
委員 堺江
委員 笠利
委員 柳原莊一郎

(剛)